

平成21年度事業実施報告

I. 技術振興事業について

(1) 技術相談会

◎NPOながさきとの連携（新現役チャレンジ支援事業）について

福岡新現役関係者と（佐世保高専小会議室）

都市部の新現役と県北地域の企業とのマッチングのためのWEB会議を実施しました。

12月7日（月）相手先；久留米（4人参加）、

1月12日（火）相手先；福岡（11人参加）

2回実施され、

販路拡大、技術協力、海外進出等について、

支援方法や協力についての相談が行われた。

今後も支援については引続き行われることになっている。

なお、東京事務所、大阪事務所も開設された。



◎個別技術相談2件・・・継続中

1. 県北企業と試作成型品評価試験と加工方法についての共同研究が佐世保高専教員とで実施されている。

2. 県北企業から赤外サーモグラフィを使った温度測定実験による製品の性能等の技術相談が佐世保高専教員にあり指導されている。

(2) 技術研究会（交流会）

①工業団地との技術交流会

開催日；12月3日（木）

17:00～18:00

佐世保テクノパーク（6社）

との技術交流会

NTC 技術交流検討WG 委員（7人）

学官関係者（10人）

場所；（西部環境調査(株)会議室）



懇談会（17名）



○長崎大学等各機関からの産学官の取組について説明後、意見交換があった。今回は各機関の説明に時間を取られ、企業側のご意見を十分に聞けなかった分、懇談会では時間ぎりぎりまで懇談された

②新しい試みとして連携事業検討会の設置

技術交流検討WGを3回開催され、以下の3件について意見交換が行われている。いずれも、現在の国の施策にのっとったものである。

1. 農商工連携をテーマとしたエネルギー自律縦型植物工場（システム）事業

については、「長崎県植物工場実用化協議会」を宮本社長（宮本電機(株)）を中心に平成21年12月に立上げられ、調査・研究事業を開始されている。NTCが直接本事業へ関係しているわけではないが、今後関係機関等の連携を図るためには協力することとなる。

2. 福祉関係事業として、就業支援システム事業

3. 環境関係事業として、水質保全・利用事業

については、工業技術センター、窯業技術センターの技術支援等を中心に関係者を募り、1と同様、調査・研究事業等を検討し、継続審議することとしている。

③西九州組込み技術コミュニティ（NET-C）について

会員数 法人9（佐賀県も含む）、学1、官4

平成20年6月 西九州組込み技術コミュニティ（NET-C）設立
例会（毎月1回）、佐世保情報産業プラザ（事務局）開催、

・組込みシステムに関する学習会や情報交換会

・製品開発等の共同研究会の検討

・新事業の取組検討、事業への補助金申請等への検討

など、各会員よりテーマを募り検討し、テーマを絞り、技術相談、共同研究の模索、補助金申請等の検討が毎月1回実施されている。

(3) 講演会・パネル展示はなるべく一緒に実施計画する。

・第3回企業紹介展（11月17日、18日）（主催；佐世保市地域雇用創造協議会）・・・パネル展示の参加及び後援

・産学官連携技術交流会 in 長崎（11月19日）（主催；財団法人九州産業技術センター）・・・後援

・海洋セミナー（1月28日）（主催；長崎県産業振興財団）・・・後援

II. 人材育成事業について

(1) 地元企業人材の育成事業について

①のNTCの人材育成事業の自立化として、今年度も佐世保市からの委託事業を実施。

人材育成検討WGを3回開催し、講座の内容、実施時期、次年度以降の事業の参考とするためのアンケート調査等について検討した。

4講座；定員50名、受講生 59名（4名欠席）

- ・ J I S 溶接技能者評価試験対応講座
(佐世保重工業(株))
10月23日～10月31日
受講生20名（1名欠席）



- ・ 特殊鋼加工学講座
(佐世保高等技術専門学校)
10月17日～10月24日
受講生 5名

- ・ NCプログラミング講座
(佐世保高等技術専門学校)
11月 7日～11月15日
受講生 10名



- ・ 品質管理講座 (佐世保高専)
11月22日～12月 6日
受講生24名（3名欠席）

カリキュラムの内容については、佐世保高専教員（2）、技術専門職員（1）、SSK人材開発部技能教育センター指導員（3）、SSKOB（2）、佐世保高等技術専門学校専門指導員（1）、主任技師（1）、旧辻産業（株）OB（2）、（財）長崎県産業振興財団企業インストラクター（1）、NPO法人サンスイ機構コーディネータ（1）の14名の講師、講師補助の協力で、実施した。

詳細については資料2-2を参照ください。

資料2-3 受講者申込状況

受講申込66名、受講決定者64名、受講者59名（重複受講2名）
受講決定後の辞退者が7名ありました。

資料2-4 講座修了後の受講生のアンケート結果

1. 実施講座についてはスキルや仕事に役立つかどうかについてはまあまあ役立つまでを入れると、ほぼ満足しているとの結果である。
2. 講師陣についても、実習前の講義が役立つこと、実務経験者の実習指導が大変良かったとの回答があっている。
3. 有料でも参加するかについては、会社負担で61%、自己負担でも34%の受講生が参加するとの回答であり、1万円程度の自己負担で、興味ある内容の研修であれば参加することがわかる。

本研修が地域で連携して行うことについて、参加しやすい環境であり、他業種同士での意識向上につながる等、本研修の継続実施が必要であることがわかります。

資料2-5 派遣企業等のアンケート結果

- 1月19日受講生派遣企業に対しアンケート調査を行いました。
- 23社（機関）へ依頼し、13社から回答があった結果
1. カリキュラムの内容が企業のニーズに対応していたかどうかについては70%が対応していたで、30%が対応していないとの回答、
2. 社員の知識の向上に役立っているのは92%、現場で活かされているかは85%で、本研修が有効的に生かされていると判断できる。役立たなかった、活かされていないとの意見1社ある。
3. 実施後のフォローについては31%で、実施機関とのつながりを期待しているかについては100%が期待し、事業の継続の必要性についても100%が望まれている。また、受講生のアンケートでも実習前の講義が役立つこと、実務経験者の実習指導が大変良かったとの回答があっているが、実際には実施機関や講師を実施後もうまく活用されていない状況である。気楽に相談、指導できる体制、方法（企業が求める実施時期やフォローの方法）を検討する必要があるのかも知れない。講師や実施機関の都合もあるが
4. 実施してほしい講座については機械加工、溶接技術、品質管理等関係等であり、内容は応用技術的なもので、社外での実施場所の希望が多い。
5. 実施日数は2日間程度、1日6時間、土曜開催希望が多い。
6. 有料で実施した場合でも参加させるかどうかについては、1万円以下では参加させたい62%ある。2万円以上になるとどちらともいえないが40%程度になり、講座の内容によって、企業にとって必要な場合は参加させるとの意見と思われる。

本事業の総合的な判断としては満足しているが79%で、即現場で実践できることや、社内では得られない知識の習得があげられ、一方実践的でなく、基本的な講習の希望もある。研修を地域で連携して行うことについては、研修が短期間で出来ること。地域のレベルアップと実施機関や講師とのつながり、他社とのコミュニケーションが図られることが大変良い。各企業が協力して優秀な人材の育成に知恵を出し合っていかなければといった意見があっている。

また、企業がより派遣しやすいカリキュラムの作成、地域企業や新分野への展開、ものづくり技術の質の向上につながることを期待され、本アンケートの結果としては継続することが望まれているし、企業が求めるカリキュラムの内容であれば有料でも実施できると判断できた。

- ②経済産業省の補助事業について、
21年度も実施（予算額 34,215,037円）
管理法人；長崎県産業振興財団
11講座 定員179名、受申込延人数228名、受講決定者185名
（詳細は別紙資料2-6のとおり）2月13日に終了

合同開講式
事務局長挨拶



3次元CADを活用したRP技術研修



セラミックス材料応用技術実習



電子デバイス設計研修



TIG溶接・熱解析研修

NTCの会員企業の参加ご協力いただきましたことに感謝します。

講座によっては、参加がなかなか集まらず、11月に新聞折り込みチラシを行ったところ、多数の申込があり講座によってはお断りの通知を出すところもありました。本事業は研修講座も多く、受講対象者も企業の社員のみでなく、求職者等幅広く求められていることや、1年間という長期間で実施されるために、募集方法等に工夫がいるのではないかと考えられました。

(2) 地元学生育成事業について、

①地域企業のインターンシップによる職務体験、
キャリア教育室との連携・学生の研修参加への依頼、企業情報等の交換、

②地域企業からの卒業研究テーマの公募も引き続き継続するよう検討。
特になし

③寄附講座の設置の計画についても、引き続き検討。(研究会との絡み)
特になし

(3) 小中学生の育成・教育支援、(4) 社会人教育については、ホームページ
で情報発信する。(情報発信検討WGへも依頼)

特になし

○ (2) については、次年度において、NTCの関わり方についての検討をす
ることとなった。

○ (3) 小中学生の育成・教育支援、(4) 社会人教育については、引き続き
各機関で実施していただきそれぞれから情報発信いただき、場合によっては
NTCでも支援協力していくこととなる。

Ⅲ. 情報発信事業について

①会員の企業の更新可能とする為の方法等整備

資料2-7の西九州テクノコンソーシアム Web サイト 個別管理については8月10日各会員へ会員個別管理マニュアル及び暗証番号を付して通知した。

また、第2回企画委員会（9/16）で報告した。

1月25日現在で3件の更新企業が見受けられる。

従って

○Webサイトの活用について、

最新情報の更新を総会の通知等を利用し各会員へ再周知を図ることになった。

②バナー広告案件について

（任意団体として、広告を有料にして収入ができるかどうかの課題等について、事務局で資料収集ができていなく、検討までいたっていません。

引き続き検討課題とします。）

○アクセス件数を増加させる必要があるが、現状としてはバナー広告は無理と判断した。

時期を見て、各会員企業へ依頼することを検討することとなった。

③事業報告について

資料2-8のとおり、事業報告書にスケジュールが終わった時点でタイムリーに結果を掲載。

各機関との連携・・・各機関の情報掲載（セミナー等の案内）

資料2-9のとおり、トップページで各機関からのセミナー等のご案内もメール以外にスケジュールに随時掲載。

○NTCから各企業にメールする相手先は、最初に登録された時のメールアドレスのままなので、各会員企業の担当メールを再確認し整理し、周知の効率化を図ることが必要との意見があり、協力依頼することとした。

IV. 佐世保市委託事業

1. 佐世保市中小企業支援審査会委託事業

審査会委託事業（8件申請、1件辞退、7件採択）

5月7日～5月13日 事前ヒヤリング実施

5月29日（金） 審査会開催

11月24日～12月1日 中間報告に伴う企業訪問

3月16日～3月29日 今後、実施報告結果について企業訪問する予定

2. 佐世保市技術向上育成連携委託事業

Ⅱの人材育成事業で説明